

授業科目名	特別講義（保育保護者対応）	担当教員名	西林 幸三郎
必修/選択		開講学年・学期	2年 後期（年間開講数 講座）
科目区分	その他の科目	単位数	単位（時間）
施行規則に定める科目区分等		授業方法/担当形態	講義 /
		特記事項	
授業の到達目標	<p>(1)教育・保育の基本的概念：教育・保育の基本的概念を身に付けるとともに、教育・保育を成り立たせる諸要因とそれら相互の関係を理解する。</p> <p>①教育学の諸概念並びに教育の本質及び目標を理解している。</p> <p>②子ども・教員・家庭・学校など教育を成り立たせる要素とそれらの相互関係を理解している。</p> <p>(2)教育・保育の実践的課題を追求するうえで、保護者の幼稚園・保育所への信頼関係を樹立するために、保育者は、何をどう理解するのか</p> <p>①家族と社会による教育の歴史を理解している。</p> <p>②近代教育制度の成立と展開を理解している。</p> <p>③現代社会における教育課題を歴史的な視点から理解している。</p> <p>(3)カウンセリングマインドの理解のうえにたつて、保護者の教育・保育への願いを理解し、課題解決への大きな指標を提示する。</p> <p>①家庭や子どもに関わる保護者の願いを理解している。</p> <p>②学校や学習に関わる教育の姿勢を理解している。</p> <p>③保護者対応の実践例から学び、討論し、内容の深化充実を図る。</p>		
授業の概要	保育対応の基本となる考え方や乳幼児の発達や特性等を修得したうえで、子ども理解ならびに保育の内容や方法等保育者としての役割を理解し、その専門性を高めるための実践的方策を学ぶ。また、保育の現状と課題について考える。		
テキスト	①幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領		
参考書・参考資料等	<p>①「保護者対応に悩む先生への助言」西林幸三郎著（明治図書出版）</p> <p>②平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」（株式会社チャイルド本社）</p> <p>○新聞記事等適宜紹介</p>		
成績評価の方法	○学習への意欲と興味関心…授業態度・レポート等の提出：50% ○内容の理解…：グループ討論50%		
授業計画	授業の内容		到達目標番号
第1回	*オリエンテーション *保護者対応とは何か		
第2回	*「子ども主体の保育・教育」へ *保育を原理的に考える		
第3回	*保育と子ども理解 ・ 子ども理解とは何か ・ 「子ども理解」の根底にあるもの		
第4回	事例研究 1		
第5回	事例研究 2		
第6回	事例研究 3		
第7回	事例研究 4		
第8回	保護者対応のまとめ		
定期試験	定期試験は実施しない		